

令和7年度当初予算案 事業別概要

1	項 目 名	因幡霊場内部改修事業
---	-------	------------

年 度	令和7年度
-----	-------

担当課	環境衛生課
-----	-------

会計名	一般会計
款	衛生費
項	火葬場費
目	因幡霊場管理費

事業の概要

【問合せ先】環境管理係 0857-26-0532

【事業の経過及び背景】

因幡霊場は平成10年に供用開始し26年が経過しており、施設が老朽化しているため設備の更新を行うものである。また、併せて待合室及びトイレの洋式化を行う。

【事業の目的及び効果】

老朽化している設備を更新し、待合室やトイレを全て洋式化することにより、利用者が快適に過ごせるよう、利便性を図る。

【事業の内容】

1 施工年度 令和7～8年度（債務負担行為）

2 事業内訳

建物改修 和室(4室)→洋室、和式トイレ→洋式トイレ、従業員室(女性)・授乳室新設など
設備更新 冷暖房設備、受水槽など
物品購入 机(8台/室×4室)、椅子(32脚/室×4室)

3 事業費

(単位 千円)

	R 7	R 8 (債務負担行為)	合計
工事関係	207,044	310,568	517,612
物品関係	12,294	—	12,294
合計	219,338	310,568	529,906

【事業の実績】

令和6年度 実施設計業務 12,595千円（契約額）

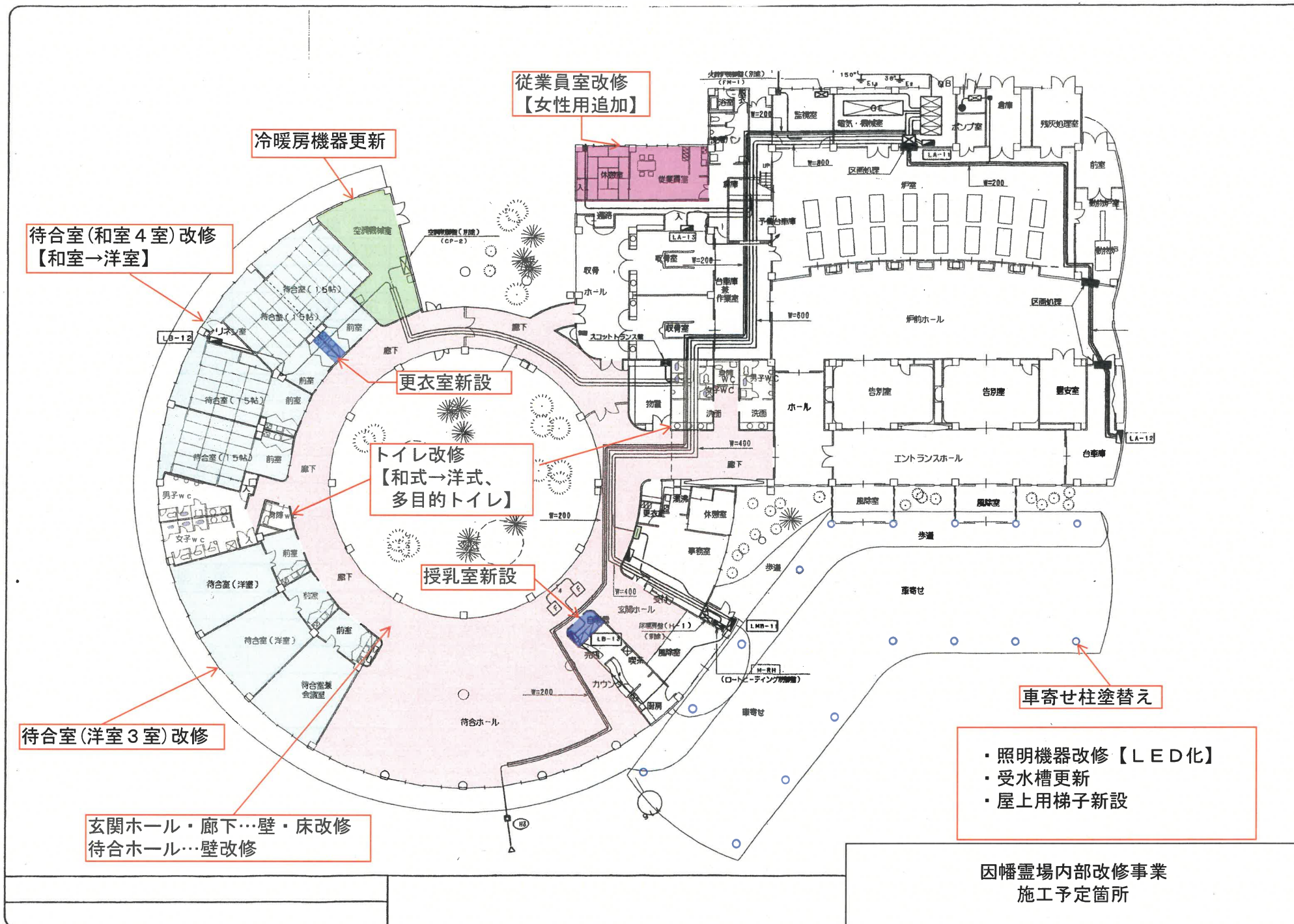
(単位：千円)

令和7年度当初予算額	219,338
令和6年度当初予算額	12,924

(単位：千円)

区 分	金 額
財源内訳	
国庫支出金	
県支出金	
地方債	155,200
その他	
市町普通負担金	64,138
計	219,338

その他財源の内訳



2	項 目 名	因幡霊場火葬炉耐火物更新事業
---	-------	----------------

年 度	令和7年度
-----	-------

担当課
環境衛生課

会計名	
	一般会計
款	衛生費
項	火葬場費
目	因幡霊場管理費

(単位：千円)

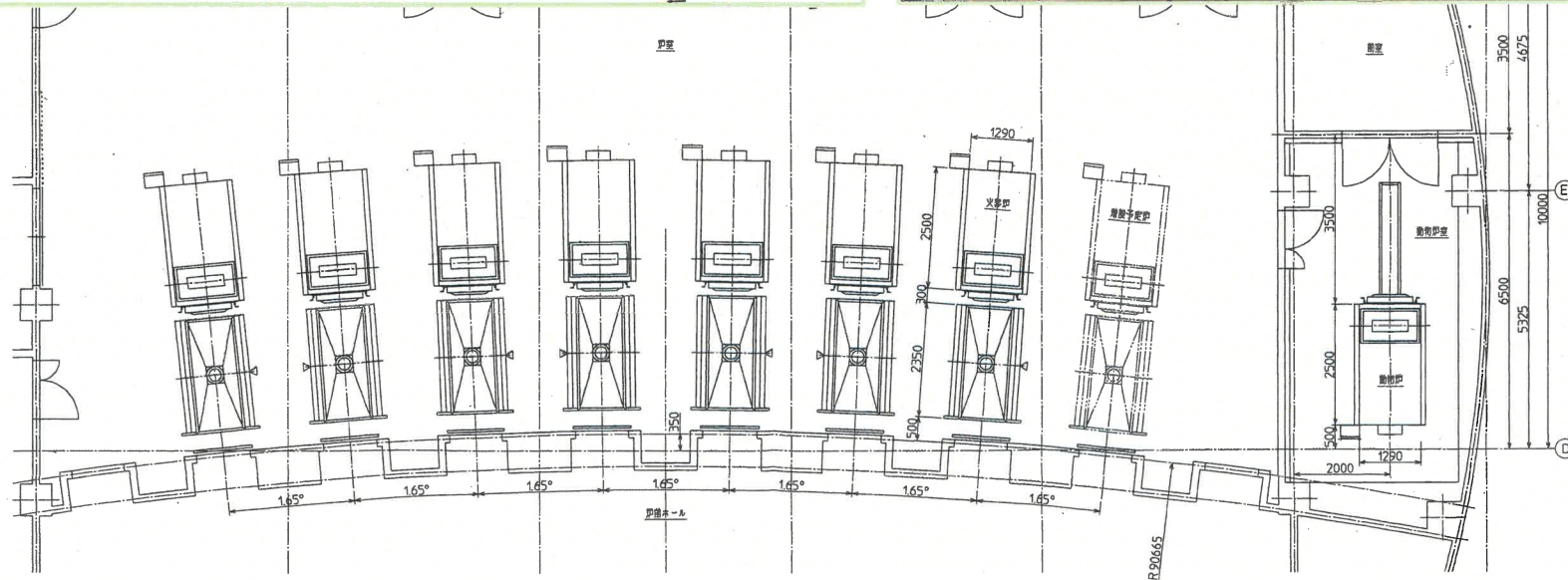
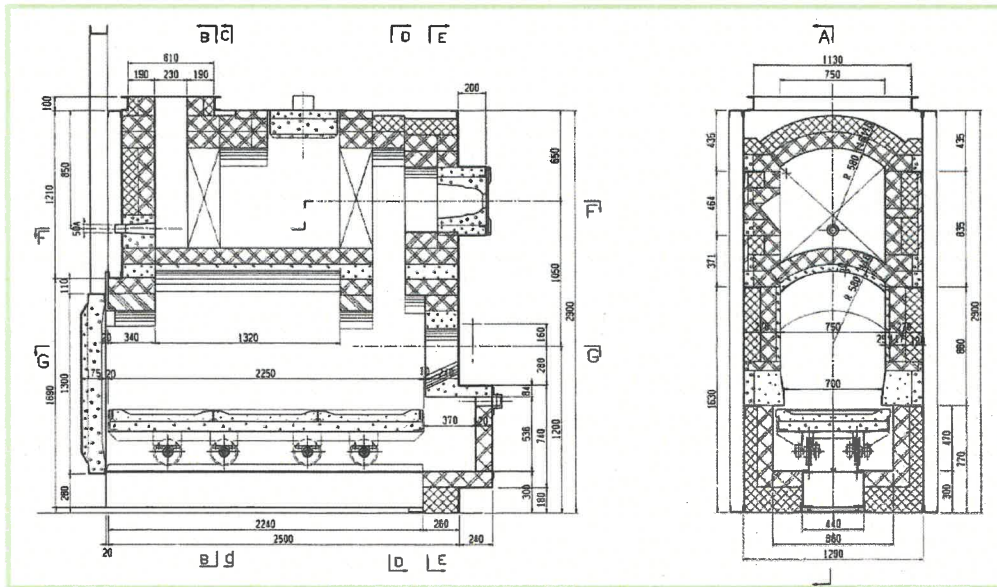
令和7年度当初予算額	40,986
令和6年度当初予算額	0

(単位：千円)

区 分	金 額
財源内訳	
国庫支出金	
県支出金	
地方債	30,700
その他	
市町普通負担金	10,286
計	40,986

その他財源の内訳

事業の概要
【問合せ先】 環境管理係 0857-26-0532 【事業の経過及び背景】 因幡霊場の火葬炉は8炉(うち1炉は動物炉)あり、耐熱煉瓦等耐火物は、経年劣化のため概ね9年周期で更新を行っている。1回目の更新は、平成19年度から21年度、2回目の更新は、平成28年度から30年度に実施した。近年は、火葬実績の増加に伴い使用頻度が高くなっていることから劣化が進んでいるため、更新をするものである。 既設の火葬炉での更新は最大3回を限度としており、今回が最終の3回目の更新となる。 [参考]：火葬実績(大人・小人のみ) 令和元年度 2,830件 令和2年度 2,778件 令和3年度 2,929件 令和4年度 3,187件 令和5年度 3,086件 【事業の目的及び効果】 耐火物を更新することにより安定した火葬を行う 【事業の内容】 火葬炉4炉の耐火物更新 事業費 40,986千円/4炉(残り4炉はR8施工予定)



因幡霊場火葬炉耐火物更新事業

3	項 目 名	リンピアいなば運営管理業務
---	-------	---------------

年 度	令和7年度
-----	-------

担当課	環境衛生課
-----	-------

会計名	一般会計
款	衛生費
項	可燃物処理費
目	ごみ処理施設管理費

(単位：千円)

令和7年度当初予算額	740,004
令和6年度当初予算額	724,331

(単位：千円)

区 分	金 額
財源内訳	
国庫支出金	
県支出金	
地方債	
その他	423,162
市町普通負担金	316,842
計	740,004

その他財源の内訳	
売電収入	169,380
可燃物処理手数料	253,600
磁生物売払収入	182

事業の概要	【問合せ先】施設管理室 0857-26-0596 【事業の経過及び背景】 可燃物処理施設「リンピアいなば」は、DBO（設計・施工・20年間の運営管理一括発注）方式により発注し、JFEエンジニアリングと運営管理業務委託契約を締結している。 契約に基づき、委託料は、物価上昇率等の変動や、JFEの提案余剰電力量の達成、未達成により増減を行うこととなっている。 【事業の目的及び効果】 可燃ごみの適正処理、施設の安定稼働や環境保全、ごみエネルギーの有効活用を図る。 【事業の内容】 令和7年度 740,004千円 固定費 579,769千円 × 消費税等1.1 = 637,746千円 (対前年度：12,842千円増(2.3%増)) 変動費 1,587 円/t × 計画ごみ処理量58,577t/年 × 消費税等1.1 = 102,258千円 (対前年度：24円増(1.53%増)) ※物価上昇により固定費、変動費ともに増額 【事業の実績】 令和6年度 724,331千円(決算見込) 固定費 566,927千円 × 消費税等1.1 = 623,620千円 変動費 1,563 円/t × 計画ごみ処理量58,577t/年 × 消費税等1.1 = 100,711千円 令和5年度 683,644千円 固定費 542,650千円 × 消費税等1.1 = 596,915千円 変動費 1,346円/t × 計画ごみ処理量58,577t/年 × 消費税等1.1 = 86,729千円 〔 固定費…人件費、電気・水道基本料金 等 変動費…薬品費、燃料費、電気・水道従量料金 等 〕
-------	--

4	項目名	消防庁舎新築・改修事業
---	-----	-------------

年度	令和7年度
----	-------

担当課	消防総務課
-----	-------

会計名	一般会計
款	消防費
項	消防費
目	消防施設費

(単位：千円)

令和7年度当初予算額	596,552
令和6年度当初予算額	258,654

(単位：千円)

区分	金額
財源内訳	
国庫支出金	
県支出金	
地方債	592,300
その他	4,252
市町普通負担金	
計	596,552

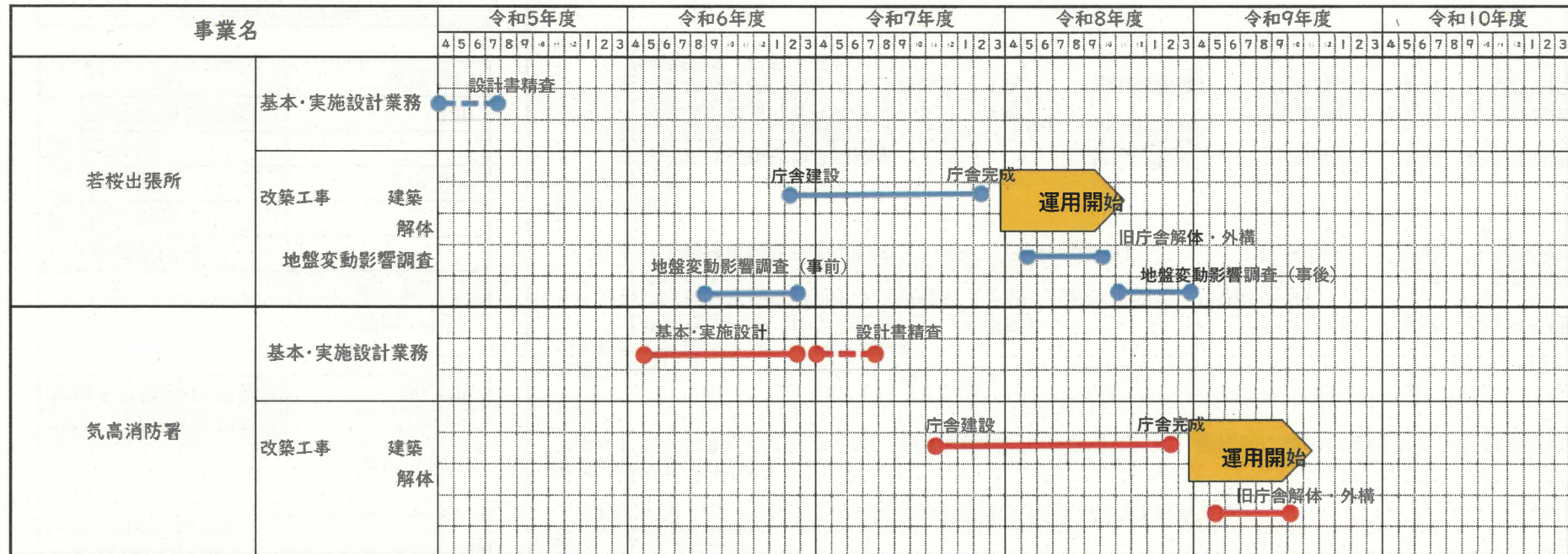
その他財源の内訳	
市町特別負担金	4,252

事業の概要	
【問合せ先】 管理係 0857-23-2434	
【事業の経過及び背景】 昭和56年以前の旧耐震基準で建築されている消防庁舎は、耐震性を表すIs値が基準以下であり、耐用年数に到達し老朽化が進行していること等の問題が生じていることから、新築事業を進めており、令和5年度時点で事業対象9施設のうち、5施設の事業を完了している。 また、事業対象にない庁舎についても、建物・設備の老朽化が進んでいることから、計画的に修繕を実施している。	
【事業の目的及び効果】 消防庁舎の老朽化及び耐震不足を解消するため、本組合消防庁舎整備基本方針に基づき消防庁舎の新築整備を行い、既施設については維持管理をより効率的・効果的に進めるため、必要な改修を行い、庁舎設備の予防保全に努めることで、継続的に管内地域の安全・安心の確保を図る。	
【事業の内容】 ・八頭消防署若桜出張所 新築工事・工事監理 【債務負担行為（R6～R7）】（2年目） [当初] 250,158千円 ・気高消防署 新築工事・工事監理 【債務負担行為（R7～R8）】（1年目） [当初] 304,308千円 ・気高消防署 外構設計 [当初] 3,168千円 ・鳥取消防署 自家発電設備他改修事業 【債務負担行為（R7～R8）】（1年目） [当初] 38,918千円	
【事業の実績】 令和6年度 ・八頭消防署若桜出張所 新築工事・工事監理・地盤変動調査 [決算見込] 173,491千円 ・気高消防署 基本・実施設計、地質調査 [決算見込] 68,932千円 ・消防局・鳥取消防署 電気設備改修工事実施設計 [決算見込] 5,566千円 外壁ドローン調査 [決算見込] 611千円	

庁舎建設工程表（予定）

参考

R6.11現在



5	項目名	消防車両更新事業
---	-----	----------

年度	令和7年度
----	-------

担当課
消防総務課

会計名	一般会計
款	消防費
項	消防費
目	消防施設費

事業の概要
【問合せ先】 管理係 0857-23-2434 【事業の経過及び背景】 長期間使用により老朽化した車両資機材を年次計画に基づき更新する。 【事業の目的及び効果】 多様化する災害に対応するため、車両資機材の更新配備を行い、継続的に管内地域の安全・安心の確保を図る。 【事業の内容】 ・救助工作車（1台）〔鳥取消防署〕 【債務負担行為（R7～R8）】（1年目） [当初] 82,419千円 ・災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（2台）〔岩美消防署・八頭消防署〕 【債務負担行為（R6～R7）】（2年目） [当初] 158,532千円 ・災害対応特殊高規格救急自動車（1台）〔青谷出張所〕 [当初] 38,989千円 【事業の実績】 令和6年度 ・災害対応特殊高規格救急自動車（1台）〔若桜出張所〕 [決算見込] 36,465千円 ・災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車（1台）〔湖山消防署〕 【債務負担行為（R5～R6）】（2年目） [決算見込] 160,600千円 ・災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（1台）〔湖山消防署〕 [決算見込] 66,550千円 【繰越明許（R5→R6）】

	(単位：千円)
令和7年度当初予算額	279,940
令和6年度当初予算額	200,079

		(単位：千円)
区 分		金 額
財源内訳	国庫支出金	
	県支出金	
	地方債	279,800
	その他	
	市町普通負担金	140
計		279,940

その他財源の内訳

救助工作車（鳥取消防署配備予定）

《参考》

参考ベース車両



【参考車両】平成23年度配備車両（鳥取消防署）



【参考車両】平成27年度配備車両（八頭消防署）

災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(A-I) (岩美消防署・八頭消防署配備予定)

《参考》

参考ベース車両



【参考車両】令和6年度配備車両(湖山消防署)

高規格救急自動車(気高消防署青谷出張所配備予定)

《参考》

参考ベース車両



【参考車両】令和6年度配備車両(若桜出張所)

6	項目名	高機能消防指令センター整備事業
---	-----	-----------------

年度	令和7年度
----	-------

担当課	情報指令課
-----	-------

会計名	一般会計
款	消防費
項	消防費
目	消防施設費

(単位：千円)

令和7年度当初予算額	1,292,544
令和6年度当初予算額	518,150

(単位：千円)

区分	金額
財源内訳	
国庫支出金	
県支出金	
地方債	1,292,500
その他	44
市町普通負担金	
計	1,292,544

その他財源の内訳	
市町特別負担金	44

事業の概要

【問合せ先】システム管理係 0857-29-6895

【事業の経過及び背景】

現在の消防緊急通信指令システムは、平成26年に運用開始し、この機能のほぼ全てがコンピューターにより構成され作動しており、システムの耐用年数はコンピューター関係の補修部品の供給を受けることが可能な年限に制約され、最長12年程度が保守の限界と考えられる。当消防局が運用している消防指令システムは、運用開始から10年経過しており当事業完了予定の令和7年度末には12年が経過することとなり、老朽化による更新時期を迎えようとしている。

また、NTT固定電話回線の規格変更(回線のIP化)への対応を令和9年1月までに、緊急車両と指令センターをつなぐ無線回線(Foma3G)の停波への対応を令和7年度末までに行うことが必須であり、計画的に更新するもの。

【事業の目的及び効果】

消防指令システムのサービス提供を安定的に行いながら、高機能消防指令センターの更新整備を計画的に実施する。

【事業の内容】

高機能消防指令センター更新【債務負担行為(Ｒ6～Ｒ7)】(2年目)[当初] 1,281,500千円
上記事業 支援業務【債務負担行為(Ｒ6～Ｒ7)】(2年目)[当初] 11,044千円

【事業の実績】

令和5年度	実施設計	[決算]	12,100千円
令和6年度	高機能消防指令センター更新【債務負担行為(Ｒ6～Ｒ7)】	(1年目)[決算見込]	0円
	上記事業 支援業務【債務負担行為(Ｒ6～Ｒ7)】	(1年目)[決算見込]	0円